

1年生 ～交通量調査を実施して～

1年1組 浦田沙哉香（調査場所：下地町 AM）

□担当場所の交通量を調べて、市内の経済活動について感じたことは何ですか

下地から小坂井方向は、トラックが通る台数が多く、特に宅配サービスのコープあいちのトラックが多かったです。コープあいちの会社に近いこともありますが、この市内で宅配サービスを利用している人が多いことがわかりました。平日に交通量調査を行ったので、観光バスは、あまり通行しませんでした。私が調査した場所は、観光地が周りにないので、観光バスが通行しなかったのかと感じました。宅配サービスのトラックは多かったけど、バイクで宅配サービスは通行していなくて、調査時間が午前だったので、午後になったら、昼ご飯や夕食などでサービスを利用する人が出てくると感じました。

◇交通量調査を実施して、感じたこと・学んだことは何ですか

私がカウントした中のトラックで特徴的なトラックが多いので、カウントして1時間立つと、同じトラックを見て、1日に同じ道を同じ車が通行することがあるので、交通量は時間によって、少しの差はあるけど、トラックは午前だと1時間で約300台くらいは通過するということを知りました。調査場所がヤマサのちくわに近いところだったので、その会社のトラックや乗用車がよく通過するので、調査した場所でも、交通量の差が大きいと感じました。

1年2組 脇田桃子（調査場所：愛大前 PM）

□担当場所の交通量を調べて、市内の経済活動について感じたことは何ですか

私が担当した愛大前は国道だったので乗用車がとても多かったです。また周りには時習館や南部中もあるため、PM3：00頃は帰宅する学生が多かったです。反対側の通路が狭くて歩行者と自転車がぶつかりそうになっていて危ないと思ったけど信号が長く右折専用レーンもあって交番もあるので比較的事故は少ない場所かなと思いました。

◇交通量調査を実施して、感じたこと・学んだことは何ですか

自動車の量が多くて大変だったので分担して計測をしました。効率がよく、正確に計測することができたと思うので、周りに気を配ることはとても大事なことだと思いました。また地域の方と交流する機会があつて「がんばってね」など声かけてくださる方が多くてうれしかったしやりがいを感じることができました。

1 年 3 組 中田瑛都（調査場所：大橋通り PM）

□担当場所の交通量を調べて、市内の経済活動について感じたことは何ですか

女性の歩行者より男性の歩行者のほうが多かったので女性の方は外に出ない仕事をしている方が多いのかなと思いました。

どの時間帯も交通量があまり変わっていなかったなので、車で移動しなくてもできる仕事が増えたか、豊橋駅付近で働いている人たちはまだ仕事が終わっていないで大変だなと思いました。

◇交通量調査を実施して、感じたこと・学んだことは何ですか

班長会の時に見た冊子の数と結構違っていたので昔より車で移動する人が少なくなってしまうんだなと思いました。お昼ご飯時は交通量が増えると思っていましたが、他の時間帯とあまり変わっていなかったなので、皆お昼ご飯を持っているのかなと思いました。

1 年 4 組 吉口柚希（調査場所：ときわ通り PM）

□担当場所の交通量を調べて、市内の経済活動について感じたことは何ですか

商店街で人通りは多いのかと思っていましたがカウンターなしでも全て計測できるくらい人が少なかったです。自動車は4時間で1台も通りませんでした。通ったとしてもバイクや商品を運ぶミニバンのようなもので全体を通していても交通量はかなり少ないと思いました。平日ということもあったと思いますが、市内の（商店街）経済活動はあまり発展しておらず、お店もやっていないものが多かったので経営も大変そうという印象です。

◇交通量調査を実施して、感じたこと・学んだことは何ですか

交通量調査をするとその場所の大まかな経済状況を知ることができ町を知ることができる良いきっかけになると思いました。私が調査した場所は交通量が少なく発展していないと思ったので今あるお店を守るためにはどうすればいいのか考えている必要があると思いました。

1 年 5 組 大谷悠月（調査場所：豊橋環状線 AM）

□担当場所の交通量を調べて、市内の経済活動について感じたことは何ですか

私たちは午前の担当だったので通勤・通学の時間に重なり、最初は自転車・自動車が多かったです。時間がたつにつれて、散歩をしている人やジョギングをする人が増え、大型トラックなども交通量が多くなっていました。時間によって自動車や歩行者、トラックなどの種類別で交通量が違いましたが通っていく人の年齢も時間帯によって違いがあったりと、普段考えないような気づきがあって面白い調査だと感じました。

◇交通量調査を実施して、感じたこと・学んだことは何ですか

私たちの前を通っていく人の中で、多くの人が挨拶をしてくださったり、会釈をしてくださったりして、地域の方々の温かさを感じる機会になりました。話しかけてくれる方や、頑張っねと声を掛けてくれる方、車からも声を掛けてもらったりと、交通量をただ調査するだけでなく、地域の良さにも気づけて、すごく良い経験になりました。

1 年 6 組 篠田青芭（調査場所：13-2 駅前大通北 AM）

□担当場所の交通量を調べて、市内の経済活動について感じたことは何ですか

バスは 8 : 0 0 ~ 9 : 0 0 の通勤、通学が多い時間帯に 3 2 回、9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0 の時間帯はすべて 2 3 回と人の移動が活発な時間に多く出ているのは、混雑やトラブルを抑えられるからだと思うので、こういう工夫もされているんだなと感ずることができました。トラックの台数は、時間帯が遅くなるにつれて多くなっていったので、人の移動が少ない時間帯に走って時間を守って移動できているようにしているのかなと感じました。

◇交通量調査を実施して、感じたこと・学んだことは何ですか

交通量調査をしていると、優しく話しかけてくれるおばあちゃん、おじいちゃん、小さい子、高校生、色んな人がいました。真剣にやって少し疲れているときに、地域の人から笑顔や挨拶をもらおううれしかったです。バスの通る回数も時間帯を考えていることに気が付くことができました。